

「ボーダレスな危機連鎖時代の社会とガバナンス」研究会

政党間競合の現状のその分析のための視点

西欧の政党システムが揺らいでいる。各国で政党の数が爆発的に増加し、政党間の関係も流動化している。そのため、従来の古典的な類型だけで現状を分析することは困難である。そこで、本報告では、現在の西欧の政党システムを分類するための視点を検討する。具体的にはP.メアの議論に依拠しつつ、現在の西欧の政党指導者たちが有権者にどんな投票の基準を提示しているのか、デンマークでの政治変動も手掛かりに議論したい。

2024年1月25日(木)

17:00~18:30

ZOOMによるオンライン研究会

■ 報告者 古賀 光生 氏 中央大学 准教授

■ 司会 若松 邦弘 氏 東京外国語大学 教授

※本企画は2023年度東京外国語大学研究AO研究プロジェクトの支援を受け実施されています。

